

成羽病院だより



Vol. 50 2025 冬号



(ガーデンシクラメン)

クリスマスや年末年始に、エントランスや室内を彩ってくれるシクラメン。中でも丈夫で育てやすいシクラメンはガーデンシクラメンと呼ばれ、日本の冬の花として定着してきました。我が家も写真のガーデンシクラメンに癒される毎日です。(地域連携室 東 容子)

謹賀新年

高梁中学校職場体験について



11月6日～7日に職場体験で高梁中学校の生徒さん3名が当院に来てくださいました。

看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士等の専門職から病院での仕事の内容を聞き、体験をしました。

将来は医療職を目指してくれることを期待しています。



人権に関する展示について



人権週間である12月4日～10日にあわせて、今年も人権に関する展示を行いました。

「人権の花づくり」「人権書道コンテストの優秀作品展」の展示を通して、改めて人権の大切さや尊さを実感しました。

書道は力作揃いで見応えがありました。ありがとうございました。

年間を通して院内研修を実施

当院では、年間を通じて計画を立てて院内研修を実施しています。

今年度は、接遇マナーから医療安全管理、感染防止、認知症ケア、MRI・放射線安全管理、心肺蘇生に関する研修など実施し、全員参加を目標に取り組んでいます。

研修で学んだ事を少しでも実践で活かせるよう、日々研鑽を重ねていきたいと思ひます。



(令和6年12月6日 医療安全管理研修)

院内クリスマス



今年もクリスマスの時期にあわせて、院内に病院職員で飾りつけをしました。

12月25日には、小児科でサンタクロースに扮した生田副院長が子どもたちにプレゼントをお渡ししました。

一緒に声を出して「メリークリスマス！」と。

今後も「地域に開かれた病院」として、様々なイベントを実施していきたいと思います。



吉備国看護学生のハンドケア



当院では、吉備国際大学や新見公立大学から多くの看護学生さんを実習生として受け入れています。

実習中に授業で習ったハンドケアを入院患者さんに実際に行い、患者さんは表情良く、気持ち良さそうにされていました。手がきれいになりました！



〜〜新入・異動職員挨拶〜〜



外来看護師
坂田 梨紗



2024年10月より正職として外来で勤務している坂田梨紗と申します。毎日が勉強とまだまだ不慣れな事もあり、外来にいられた方にご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、よろしくお願いします。

私は「会話＝コミュニケーション」を大事にしています。会話することでその人の思いや考えなどを知ることができ、人間関係の構築に繋がると考えています。また、顔を覚えていただく機会にもなるのかなと思っています。

健康は身体健康だけでなく心の健康も大事だと感じます。微力ではありますが、コミュニケーションを通じて皆様の健康のお手伝いができればと思っています。どうぞよろしくお願いします。

2025年(令和7年)年頭のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。
2025年年頭のご挨拶を申し上げます。



昨年はようやく新型コロナウイルスの感染症も落ち着き、少しずつニュー・ノーマルの情景が病院になじんで来ました。

当院はICT、院内感染対策委員会等々で十分議論し、当番を決めての発熱外来の継続と機動的且つ積極的な検査体制の維持、面会の一部制限（少人数で原則家人に限る）は継続しております。

この中で、コロナウイルス感染症が収束に向かう段階で予想されていた通り、昨年末からインフルエンザが近年に無い大規模な流行となり、日によっては50人を上回る患者数となっております。

ただ、気が付けばこの4年間で高梁市の人口は約10%減少し、戦後ピーク時の1/3以下となり、今後もこの傾向は長く続くものと考えます。人口減少に加え人手不足も深刻で、現状では病院経営の最大懸案事項となっております。

今年の干支のヘビが脱皮を繰り返して成長するように、心機一転とはいかないと思いますが、職員一同で知恵と力を出し合い地域医療を守り維持していくよう頑張って参ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



高梁市国民健康保険 成羽病院

院長 真壁 幹夫